

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ナウ

2026 No.609

9 / 1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



2026年度 第3回理事会 開催される (Web併催)

2026年7月18日(土)午後2時より、2026年度第3回理事会が本会事務局でWeb会議システムを併用して開催されました。

初めに、会長より次の趣旨のあいさつがなされました。新理事就任後、実質的に初回となる理事会であること、診療報酬改定に伴い病院経営の改善が見込まれる一方、物価高騰の影響が医療機関に深刻な影を落としており、医療を取り巻く社会情勢が変化する中、本会としても国民に寄与できるよう事業活動を推進していくことなどが述べられました。また昨年度は本会が赤字決算となってしまうため、役員におかれは、事業運営費を支える会員の会費を預かっているという意識を強く持ち、一段と気を引き締めて会務に当たるよう意識統一が求められました。

主な議題は、(1)第45回JCRTの立候補 (2)第43回JCRTポスター案 (3)会長代理順序 (4)委員会・分科会の委任選任 (5)表彰委員会からの答申 (6)2026年度奨学生申請者 (7)学術研究助成金取扱規程改正案 (8)学術大会運営規程改正案 (9)医療被ばく低減施設の新規認定について (10)医療被ばく低減施設サーベイヤール補昇格 (11)検査説明ガイドラインの改定 (12)入会者・退会者の承認について——でした。

「第45回JCRTの立候補」に関しては、香川県を開催地とする旨が提案されました。次いで「第43回JCRTポスター案」に関しては、福岡県福津市に所在する宮地嶽神社の「光の道」をモチーフとしたデザイン案が提示されました。また「表彰委員会からの答申」として学術奨励賞および社会活動表彰の候補者各10人が提出された他、「2026年度奨学生申請者」

として会員2人からの申請がありました。審議の結果、提出された全ての議題について、本理事会において承認されました。

主な報告事項としては、「JART Vision 2040 経過報告」につき上田会長より、長期目標および中期目標に対する進捗経過が報告されました。報告では、告示研修に伴う会員数の増加が見られたものの、直近の入会状況は低調であることから、今後はさらなる動向分析と事業魅力の発信を行い、入会促進に取り組む必要性が示されました。一方で、四病協および養成機関との連携強化は着実に実践されていることが報告されました。またラダー制度の再構築を完了したため、今後は広報の徹底と活用の方針が示されました。なお、DX化については実現に至っており、今後も継続的な推進を図るものとされました。

その他の報告事項としては、会員動向や月次決算、各委員会・各分科会・関係団体報告、各認定機構などの情報と、第42回日本診療放射線技師学術大会(山形県)からの報告、第43回日本診療放射線技師学術大会(福岡県)からの報告がありました。

最後に、今後のスケジュールが確認された後、上田会長よりあいさつがなされました。会長からは、理事会におけるJARTの事業報告を会員へ広く周知し、深い理解を得ることで、今後の入会促進へとつながっていきたい旨が述べられました。

詳細は、本会会誌に掲載される2026年度第3回理事会議事録(抄)をご参照ください。

2026年度 都道府県(診療)放射線技師会 地域委員会 (全国地域連絡協議会) 開催される(Web併催)

2026年7月18日(土)、2026年度都道府県(診療)放射線技師会 地域委員会(全国地域連絡協議会)がWeb会議システムを併用して開催されました。会議は午前9時30分から11時30分まで行われ、全国の各地区を代表する委員が参加しました。

会議では、上田会長より令和8(2026)年度事業について説明が行われるとともに、「JART Vision 2040」の検討経過が報告されました。また園田理事からJARTの組織体制について説明があり、都道府県(診療)放射線技師会長および若手会員との懇談会企画について情報共有が行われました。

続いて、第42回および第43回日本診療放射線技師学術大会の開催に向けた報告の他、告示研修、ワクチン研修、会費

未納除籍者に対する債権回収、第55回医療功労賞への協力依頼、フレッシュャーズセミナーの実施状況など、今後の事業運営に関する幅広い事項について説明が行われました。

さらに会員情報システムおよびWebサイトの更新について報告され、各地区における会員情報システムの整備状況についても情報共有が行われました。

本委員会は、日本診療放射線技師会と全国の各地区・都道府県(診療)放射線技師会との連携を深め、今後の事業方針や課題を共有する有意義な機会となりました。今後も各地域との緊密な連携を深めながら、組織のさらなる発展と診療放射線技師を取り巻く諸課題への対応を進めてまいります。

2026年度 都道府県(診療)放射線技師会 新任会長会議 開催される(Web併催)

2026年7月18日(土)、2026年度都道府県(診療)放射線技師会新任会長会議がWeb会議システムを併用して開催されました。会議は午前11時30分から正午まで行われ、新たに就任した都道府県(診療)放射線技師会の会長が参加しました。

会議では、初めに出席者による自己紹介が行われ、それぞれの地域における活動状況や今後の抱負について共有しました。続いて江端業務執行理事より、都道府県技師会との業務委託契約について説明があり、今後の事業運営や連携に関する確認が行われました。

また新任会長から日本診療放射線技師会に対する要望や意見が示され、各地域が抱える課題について意見交換を行いました。さらに園田理事より、会誌掲載用の自己紹介原稿について依頼があり、今後の掲載に向けた説明が行われました。本会議は、新任会長相互の交流を深めるとともに、日本診療放射線技師会と各都道府県(診療)放射線技師会との連携体制を確認する有意義な機会となりました。今後も各地域との情報共有を図りながら、円滑な組織運営と診療放射線技師会活動のさらなる充実に努めてまいります。

2026年度 新任会長一覧

北海道	島崎 洋
東京都	木暮 陽介
神奈川県	引地 利昭
山梨県	玉川 勝也
長野県	田中 真彦
岐阜県	檜山 征也
三重県	安本 浩二
広島県	中上 康次
香川県	木戸 裕



上田会長、日本臨床工学技士会 肥田泰幸理事長と共に、畦元将吾衆議院議員事務所を訪問する

2026年6月9日(火)、上田会長、江端業務執行理事が、公益社団法人日本臨床工学技士会第15回定時社員総会第9期役員選挙(2026年6月6日(土))において、新たに就任された肥田泰幸理事長と共に、本会顧問でもある畦元将吾衆議院議員事務所を訪問しました。畦元議員と肥田理事長は以前から面識があるため終始和やかな会談となり、同日発足の自民党議員連盟「医療情報イノベーション議員研究会」(MII = Medical Information Innovation 研究会)発足に関しても意見交換しました。同研究会には畦元議員も参画されており、今後の情報共有と方向性について話し合いました。



日本臨床工学技士会 肥田泰幸理事長、本会事務局を訪問する

2026年7月8日(水)午後1時、公益社団法人日本臨床工学技士会の肥田泰幸新理事長、青木専務理事、奥田事業部長が本会事務局を訪問されました。上田会長、江端業務執行理

事との着任のあいさつに併せて、今後、両団体が生涯教育や人員確保について意見交換を進め、より一層連携を深めていくことを確認しました。



本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<https://www.jart.jp>) 右上の“JART入会案内”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-4226-2211 E-mail : jimukyoku@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

INFORMATION

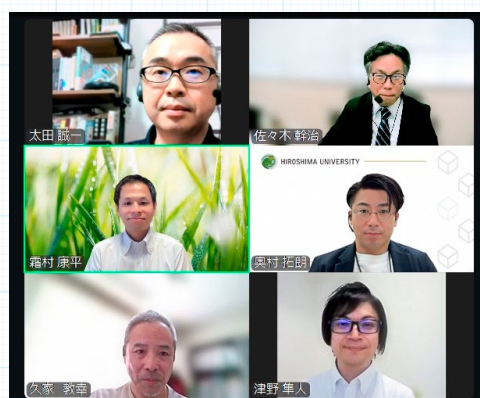
学術教育委員会 放射線治療WG主催 2026年度 IGRT Webセミナー マージン理解から算出まで（続編） 開催報告（Web開催）

学術教育委員会

2026年7月18日（土）、日本診療放射線技師会 学術教育委員会 放射線治療ワーキンググループ主催による「2026年度 IGRT Webセミナー マージン理解から算出まで（続編）」をWeb開催致しました。本セミナーは、画像誘導放射線治療（IGRT）におけるマージンの考え方を体系的に学び、臨床現場での判断に結び付けることを目的として企画したものです。

今回は、マージン算出の基礎、装置由来の不確かさ、患者由来の不確かさ、さらにデモデータを用いたマージンサイズ

算出演習を中心に構成しました。講義では、統計学的な考え方や不確かさの捉え方、IGRTで補正できる不確かさと補正後にも残る不確かさについて整理しました。演習では、ヒストグラムや累積度数分布を用いて、参加者が実際にデータを確認しながらマージンサイズを算出する過程を体験しました。総合討論では、算出された値をそのまま臨床推奨値として扱うのではなく、照合方法、照合頻度、対象部位、施設の運用を踏まえて、根拠を説明できるマージン設定につなげる重要性を共有しました。本セミナーが、各施設におけるIGRTの安全で質の高い実践に寄与することを期待致します。



公益社団法人
日本診療放射線技師会

2026年度 IGRT web セミナー マージン理解から算出まで（続編）

09:00 | 開会挨拶
京都医療科学大学 霜村 康平

09:05 | 1. マージンの算出に関わる基礎知識（講義）
群馬県立県民健康科学大学 津野 隼人 先生

09:50 | 2. 装置由来のマージンサイズの算出（講義）
群馬県立県民健康科学大学 津野 隼人 先生

10:35 | 休憩（10分）

10:45 | 3. 患者由来のマージンサイズの算出（演習）
広島大学病院 奥村 拓朗 先生

12:15 | 総合討論・閉講式
徳島大学 佐々木 幹治 先生
京都府立医科大学附属病院 太田 誠一 先生

12:45 | 閉会挨拶

学術研究助成金の公募について

INFORMATION

診療放射線学および診療放射線技術の向上に寄与し、診療放射線技師の将来的発展が期待できる研究について、下記の通り公募することになりましたのでお知らせします。

なお、本年度より新たに研究テーマを指定することとし、今回のテーマは「タスク・シフト/シェアに関する研究」と致します。

1. 応募条件：本会の会員であり、テーマ「タスク・シフト/シェアに関する研究」に沿ったもので、診療放射線学および診療放射線技術の向上が期待できる優れた着想を持った研究であること。なお、研究分担者がいる場合には、全員が本会の会員であること。
2. 助成金額：上限を50万円とする。ただし、審査結果によって決定額が変動する場合がある。
3. 研究期間：2027年4月1日から1年間とする。
4. 公募期間：2026年10月1日（木）から11月13日（金）まで（必着）
5. 申請方法：本会ホームページより必要書類をダウンロードの上、公募期間内に必要書類を全て日本診療放射線技師会事務局に提出すること。
6. 審査結果の通知：審査結果については、申請者に対して書面で通知する。
7. 学術研究における倫理：人を対象とした研究を行う際には「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って研究を遂行すること。また申請時に所属施設などの研究倫理委員会などの承認を得た場合は、倫理申請承認施設名と番号を記載すること。

診療放射線技師のための フレッシュャーズセミナー 開催報告

和歌山県

一般社団法人和歌山県診療放射線技師会 副会長 峠 通生

2026年5月17日(日)、和歌山市内において、「診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー」を開催しました。

本年度は、新卒者に加え、養成校教員のご協力の下、病院実習生にも参加を呼び掛けた結果、新卒者10人、病院実習生3人、引率者1人の計14人にご参加いただきました。

本年度から、日本診療放射線技師会の新たなフレッシュャーズセミナーのプログラムが開始されましたが、当会では従来のプログラムを継続し、「感染対策」「医療安全」「気管支解剖」「被ばく低減」「病気の理解(脳・神経、消化器)」などの講義を実施しました。なお、「エチケット・マナー」および「医療コミュニケーション」については、多くの施設で新人研修として実施されていることを踏まえ、今回はプログラムから外しました。

昼食時には、会長・副会長・理事・新人診療放射線技師・病院実習生が一堂に会し、弁当を囲みながら交流を深めました。診療放射線技師同士のつながりを築くとともに、職場や日頃の業務について自由に意見を交わす貴重な時間となりました。

今回は、就職したばかりの新人診療放射線技師に加え、今後、就職を控える診療放射線技師養成課程の学生にもご参加いただきました。限られた時間ではありましたが、新人技師同士や新人技師と学生との交流を通じて、和歌山で働く魅力



や地域の良さを感じていただけたのではないかと思います。

なお、日本診療放射線技師会では、新卒者(診療放射線技師登録初年度)を対象に、入会金・年会費無料制度を実施しています。また和歌山県診療放射線技師会でも新規入会無料キャンペーンを実施しています。今後も本セミナーを通じて、新人診療放射線技師の育成や会員相互の交流を促進するとともに、会員拡大につなげていきたいと考えています。



青森県

公益社団法人青森県診療放射線技師会 理事 竹山 修嗣

日 時: 2026年6月13日(土) 9:25~11:40

開催場所: 青森県立中央病院 3階研修室

参加者: 13人、スタッフ6人

参加費: 無料

青森県診療放射線技師会は、2026年6月13日(土)に青森県立中央病院においてフレッシュャーズセミナーを開催し、13人の方にご参加いただきました。

「放射線部門に特化した医療安全」および「活動の紹介と入会のご案内」の動画を視聴し、その後は他己紹介やグループワークに多くの時間を充てました。グループワークでは、県内施設の教育担当者4人にファシリテーターとしてご参加いただき、コンセンサスゲームを行いました。全国各地のご当地お菓子を景品として用意し、参加者から好評を頂き、会場は大いに盛り上がりました。本年度

はこれまで開催していた講義主体のフレッシュャーズセミナーとは異なり、楽しく和やかな雰囲気の中で開催することができ、参加者同士のつながりを深める良い機会となりました。

最後に、本セミナーの運営にご尽力いただいた会員の皆さま、ならびにお菓子の提供にご協力いただいた全国X線撮影技術読影研究会の世話人の皆さまに、この場をお借りして心より感謝申し上げます。



栃木県

一般社団法人栃木県診療放射線技師会 会長 吉成 亀蔵

2026年6月14日(日)、栃木県総合文化センター第4会議室で、「2026年度 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」を開催しました。本セミナーは、県内に就職した新人診療放射線技師26人を対象に実施しました。

本年度は内容を新たにし、「エチケット・マナー」「医療コミュニケーション」「アイスブレイク」「診療報酬」「医療安全」「グループワーク」「放射線技師会の活動紹介」など、全7科目を行いました。

グループワークでは、同じ大学の卒業生が同一グループに偏らないように編成し、自己紹介からスタートしました。自己紹介は各グループ内だけではなく、全体に向けてグループごとに発表し、チーム名とその由来についても紹介しました。チーム名の由来を発表する場面では笑いも起こるなど、会場は和やかな雰囲気に包まれました。課題に沿ってチームで意見をまとめる中で、参加者同士の会話も弾み、親睦を深めることができました。一方で、終始同一グループで進行したため、途中でメンバーを入れ替える機会を設けることで、より多くの参加者同士が交流できたのではないかと今後の改善点も見いだされました。

今後も多くの新人診療放射線技師に参加していただき、「参加してよかった」と感じてもらえるセミナーとなるよう、引き続き取り組んでいきたいと思います。



大阪府

公益社団法人大阪府診療放射線技師会 副会長 佐原 朋広

大阪府診療放射線技師会では2026年6月14日(日)、大阪府済生会中津病院 南棟3階大講堂でフレッシューズセミナーを開催しました。

本セミナーは、従来の講義中心の形式を見直し、JART監修の下、受講者参加型を重視した内容として試行的に実施しました。参加者は43人(うち入職2年目の技師7人)で、A~Fの6グループに分かれて研修を行いました。大阪府内のさまざまな施設から参加がありましたが、同じ養成校の卒業生も多く見受けられたためか、終始和やかな雰囲気の中でセミナーが進行しました。プログラムの詳細については、当会ホームページをご覧ください。

特に印象に残ったのは、グループワーク形式で実施した危険予知トレーニング(KYT)です。臨床現場で遭遇し得る場



面を描いたイラストを用い、グループごとに危険箇所の抽出と対策の検討を行い、その結果を発表しました。各グループからは、フレッシューズならではの鋭い視点や新鮮な発想が数多く示されて、運営スタッフにとっても大きな気づきと学びを得る機会となりました。

またセミナー終了後には、当会主催による情報交換会も併せて開催しました。会場をセミナー会場と同フロアに設けたこともあり、参加者の約半数が出席し、スタッフを交えて活発な交流が行われました。地方出身の参加者からは、「一人で参加しましたが、情



報交換会で知り合いができました！」と笑顔で話していただき、新卒技師ならではのつながりを広げていくという、本企画の意義と効果を改めて実感しました。

今回のフレッシューズセミナーは、当会スタッフの献身的

な取り組みに支えられ、参加者とスタッフが共に学び、成長できる有意義な機会となりました。当会としては、極めて大きな手応えを感じております。果たして今回の試みがどのような実を結ぶのか——それは“神のみぞ知る”ところでしょう。

奈良県

公益社団法人奈良県診療放射線技師会 教育委員長 錦 一聡

奈良県診療放射線技師会では、2026年6月20日(土)に「診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー」を対面形式で開催しました。

本年度の開催に当たりましては、総会に伴う役員改選の時期と重なったことから、新プログラムの目的への理解や運営スタッフの体制構築が十分に整わなかったこと、また当会の新卒入会率が例年約70%と高い水準を維持している背景もあり、JARTより提示された新プログラムへの移行は見送り、従来通りのプログラム構成で実施致しました。

広報活動としては、当会ホームページへの掲載および各施設への案内文書の送付を行いました。その結果、申込者数23人、受講者数23人となり、受講者全員に対して奈良県診療放射線技師会発行の修了証を授与致しました。

本セミナーは半日のプログラムでありながら、医療現場で即座に役立つ知識や新社会人として求められるスキルを分かりやすく解説する5つの講演に加え、JART指定の動画2本の視聴、さらに入会を促すための当会の活動紹介など、非常に充実した内容となりました。

閉会后、受講者の皆さまと意見を交わす機会があり、参加動機について伺ったところ、「職場の先輩からの勧め」や「施設に届いた案内書類を見たこと」という声が多く聞かれました。この結果を踏まえ、案内文書の発信時期については、新入職者が確実に着任した後に手元へ届くよう調整することで、よ



り確実な情報伝達につながるものと考えております。

次年度以降の開催に向け、この点について改善を図り、より多くの新入職者に参加いただけるよう取り組んでまいります。

最後に、本セミナーの開催に当たりご尽力を頂きました教育委員の皆さま、講師の皆さま、そして多大なるご支援を賜りましたJART事務局の皆さまに厚く御礼申し上げ、開催の報告とさせていただきます。



愛媛県

公益社団法人愛媛県診療放射線技師会 常務理事（学術担当） 羽藤 寛文

2026年6月20日(土)、愛媛大学医学部附属病院で「フレッシューズセミナー」を開催しました。

本年度より日本診療放射線技師会の必須プログラムが一新され、入会促進に重きを置いた新プログラムの選択が可能となりました。この新プログラムはグループワークを中心に、受講生同士が横のつながりを持てるよう配慮されているのが特徴です。

この改正を受け、本県では新プログラムと従来のプログラムを組み合わせ「ハイブリッド形式」を採用しました。特にグループワークをプログラムの冒頭に配置したことで、受講生の緊張がほぐれて反応も良くなり、終始和気あいあいとした雰囲気で行進することができました。主催者側としては

昨年度までとは異なる確かな手応えを感じています。

本セミナーをきっかけに、多くの皆さまが技師会に入会してくださることを心よりお待ちしております。



2026年度 関東甲信越 診療放射線技師学術大会 開催報告

公益社団法人茨城県診療放射線技師会
会長 沼尻 俊夫



開会式

「知と技の調和 ～常陸国から協創力を～」

このテーマを掲げ、2026年6月27日(土)・28日(日)、水戸市民会館で関東甲信越診療放射線技師学術大会を開催しました。

私たちが目指したのは、知識を共有するだけの大会ではありません。若手もベテランも、学生も講師も、メーカーや実行委員も、いろいろな方々が互いの知識や経験を持ち寄り、「楽しかった」「関わってよかった」と思ってもらえるような大会でした。

2年前から始めた準備は、全てが手探りでした。分からないことがあれば、そのたびに周囲の方々へ相談しました。すると、皆さんが親切に力を貸してくださいました。「何でも言って!」「頑張って!」と、メールの最後にはいつも私たちが気



遣う言葉が添えられていました。そうした一つ一つの言葉に励まされ、たくさんの方々の知恵とご協力に支えられながら、大会は少しずつ形になっていきました。

大会直前、二つの台風の直撃が予想されました。開催を心配する問い合わせが相次ぎ、その対応をしている最中にも、事前登録カウンターの数字は増え続けていました。その数字を見ながら、「絶対に大丈夫」と思ったことを覚えています。

迎えた大会当日、前日から準備されていた企業ブースは全て稼働し、受付フロアには参加者の笑顔があふれていました。登録者576人、一般演題94題、企業展示25社、職種を超えたたくさんの仲間の知と技がつながる2日間となりました。

大会を終えて改めて思います。「協創力」は、大会当日に生まれるものではありません。教え合い、支え合い、異なる立場の人が同じ目的に向かって力を合わせる。2年間の準備の中で積み重ねてきた一つ一つが「協創」だったのだと思います。共につくり上げてくださった皆さま、参加いただいた皆さま、全ての方々に心より感謝申し上げます。

神奈川から受け取ったたすきを茨城でつなぎ、次回は千葉へ。そのたすきには、経験や知識だけではなく、仲間を思い、支え、応援する気持ちも込められているように感じます。関東甲信越の温かなつながりが、これからも受け継がれていくことを願っています。



特別講演に登壇する富田博信副会長



フィナーレを飾る実行委員一同

**第42回**

The 42nd Japan Conference of Radiological Technologists

日本診療放射線技師学術大会

第33回 東アジア学術交流大会

The 33rd East Asia Conference of Radiological Technologists (EACRT)

新たな潮流 紡ぐ灯

人とAIがもたらす放射線技術の未来

JARTスローガン

安全と信頼、診療放射線技師の使命と責任を果たそう

日時

2026

9/11 Fri - 13 Sun

場所

山形ビッグウイング
(現地開催+オンデマンド)

立石寺 (山寺) 不滅の法灯

会長

上田 克彦

公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 山形県放射線技師会

大会長

鈴木 幸司

一般社団法人 山形県放射線技師会 会長

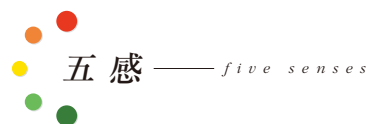
後援

厚生労働省 (予定) / 公益社団法人 日本放射線技術学会
山形県 / 山形市 (予定)

大会事務局

一般社団法人山形県放射線技師会
〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2
山形大学医学部附属病院放射線部内Tel : 023 (628) 5786 Fax : 023 (628) 5799
E-mail : 42jart@gmail.com

鍋を囲むように、山形の秋に集う

シリーズ連載
series serialization

近年は残暑が厳しい9月の山形ですが、朝夕には秋風がそよぎ、人々が外へ集いたくなる季節でもあります。また9月から12月にかけて里芋が旬を迎え、河原では大鍋を囲む湯気の向こうから笑い声が聞こえてきます。山形の秋を象徴する芋煮の季節の到来です。

その始まりは明治初期、最上川の舟運で働く人々が河原で里芋や牛肉を煮て、労をねぎらったことに由来するといわれています。身近な食材を持ち寄り、鍋を囲んで語り合う営みは、やがて直径6メートルを超える大鍋「三代目鍋太郎」で親しまれる「日本一の芋煮会フェスティバル」へと受け継がれてきました。世代や立場を超えて一つの鍋を囲み、同じ時間を共有する光景は、今や山形を代表する風景となっています。

家庭ごとに味付けが異なり、地域によっても個性がある芋煮ですが、ひとたび鍋を囲めば、その違いさえ楽しい話題となり、人と人との距離を自然に縮めてくれます。

今月、山形において第42回日本診療放射線技師学術大会を開催致します。そして偶然にも、このタイミングで「五感」を担当する機会が巡ってきました。とても不思議なご縁を感じています。

一つの大きな鍋を囲むように、学術大会にも多くの知見や多様な考え方が集まり、新たな学びが生まれます。その姿は、芋煮の文化にもどこか通じるものがあります。山形大会でも、多くの会員が交流することで、思いがけない気付きや新しいつながりが生まれることを願っています。

秋風に季節の移ろいを感じ、鍋の湯気に山形の秋を知り、人々の話らに耳を傾け、実りの恵みを味わう。学術大会のあいさつようになってしまいましたが、山形ならではの出会いとぬくもりを、皆さまと分かち合えることを心より楽しみにしております。

(文責：鈴木 幸司)

9月・10月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- ディスプレイの精度管理セミナー【実技講習会】：第42回日本診療放射線技師学術大会内 2026年 9月11日(金)～9月13日(日)
※実技講習会はオンデマンドセミナー受講終了後に表示される申し込みURLにアクセスしてご登録ください。
- 日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会 合同公開市民講座：広 島 2026年 9月27日(日)
- 認定資格試験：全国のCBTテストセンターのパソコンで試験を実施(テストセンター一覧：<https://cbt-s.com/examinee/testcenter/>)
2026年9月8日(火)～2027年3月7日(日)
- 放射線取扱主任者定期講習：東 京 2026年10月16日(金)

[e-ラーニング(ストリーミング方式)]

- JART会員向け原子力災害医療基礎研修(e-ラーニング)
2027年1月17日(日)まで申し込み受け付け(予定)
※右記「被ばく医療研修ポータルサイト」より申し込みください。 <https://retms.nirs.qst.go.jp>
※申し込みの際、JART会員番号の記入や個人情報の取り扱いなどについて注意事項がありますので、「JART会員向けR8年度基礎研修募集要項」を必ずご確認ください。
- JART会員向け甲状腺簡易測定研修(e-ラーニング+実技)
2026年10月17日(土)秋田県での実技：9月 4日(金)まで申し込み受け付け
※右記「被ばく医療研修ポータルサイト」より申し込みください。 <https://retms.nirs.qst.go.jp>
※以下a・bの両方を満たす方が対象
a：JART会員向け原子力災害医療基礎研修を修了し、有効期限内の修了証を有するJART会員
b：実技開催地(もしくは開催地近隣)に在勤または在住のJART会員で、原子力災害時に周辺住民等の甲状腺内部被ばくの簡易測定を担当いただける方、またはその可能性がある方
※事前講義：e-ラーニング オンデマンド形式(約100分)／実技：対面実施(約2時間)
事前講義を受講修了いただいた方のみ、実技を受講できます。
- 生涯教育 クリニカルラダー(e-ラーニング)セミナー ラダーレベル3
2027年1月27日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2027年3月3日(水)まで何度でも視聴いただけます。
- 生涯教育 マネジメントラダー(e-ラーニング)セミナー
2027年1月27日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2027年3月3日(水)まで何度でも視聴いただけます。
- 放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の安全管理のための研修
2027年1月27日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2027年3月3日(水)まで何度でも視聴いただけます。
- 認定資格の取得を目指す受講生の募集
2027年2月1日(月)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から認定資格試験終了日前日まで何度でも視聴いただけます。
※本講習会を修了しませんが、認定資格試験のお申し込みはできません。
- 告示研修(基礎研修)
2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から2027年4月30日(金)まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー
2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。